

平成24年度学力向上に向けた取組

函館市立日吉が丘小学校

学級数

14

視点1：アプローチの視点に基づいた、「組織的」で「つながり」（学びの連続性・学校内外の連携）をもった取組

重点教育目標

笑顔で学ぶ



日吉っ子

A 各教科・領域等における系統性や、他の教科・領域等との関連に配慮する

B 長期的な見通しをもって、学習内容を確実に定着させる

C 校内研究の進め方を見直す

D 授業公開や外部への公開・発信を生かす

取組の概要

基礎的な学習内容を身につけさせる指導の工夫

～算数科におけるきめ細かな指導の充実～

1 取り組みのきっかけ

各種標準学力調査の算数科の結果から、計算や数量関係の理解等、基礎的・基本的な知識・技能については概ね定着しているが、習得した知識・技能を活用し、思考力・判断力・表現力を発揮して実生活の場面で生かしたり、算数的活動の必要性を実感したりすることにはつながっていないという傾向が明らかになった。

そこで、平成22年度から2年間、算数科における「活用する力の育成」「言語活動の充実」を目指した校内研究を行った。

校内研究は終了したが、平成24年度も算数科の学力の向上を図るため、指導の取り組みを継続している。

2 取り組みの位置付けと方法

「わかる授業の積み重ね」を目指し、算数科における複数指導体制の強化を行った。また、教務部が中心となり、日常的な取り組みの場の設定や、時数の確保に努めている。

《わかる授業の積み重ね》 ～算数科における複数指導体制～

☆5・6年生…加配教諭により各学級週5時間

※学習内容により少人数指導および習熟度別指導を実施

☆4年生…音楽専科教諭により各学級週2時間

※昨年度に引き続き同一教員による指導

☆3年生…特別支援教育支援員による学習サポートを実施・各学級週2時間

《日常的な取り組み》

全校一斉計算タイムの実施
複数指導体制のための時数確保
長期休業中の学習サポート

《家庭との連携》

「家庭学習」「読書習慣」といった生活習慣や学習習慣を育む取り組みの呼びかけ

取組の成果と課題等

○ 取組の成果

- ・算数科における複数指導体制による指導の改善・充実
(成果) → 5・6年の算数科において、単元の内容のほか、児童一人一人の課題や習熟の程度をとらえた上で、計画的にT T・少人数指導・習熟度別指導を行ったことで、児童の算数の学習に対する理解が深まり、取り組みの意欲も高まってきている。
また、学年間の系統を踏まえた教材作りも進めている。
- ・校内研究における言語活動の充実を図るための取り組み（国語科）
(成果) → 単元の目標を達成するために、言語活動を具体的に指導計画の中に位置付けた学習活動を展開したことで、児童の相手意識や学習意欲の高まりが感じられるようになってきた。また、どの学年においても自分の考えや思いを伝える・表現するといった活動を国語科だけでなく、他教科や領域等、様々な場面で取り入れるよう、教員間でも意識するようになった。

○ 教育課程検証の方法

- ・3学期に算数科における複数指導体制に対するアンケート（対児童）を行う予定である。結果は次年度の複数指導体制の取り組みに生かしていきたい。
- ・学校評価の集計結果をわかりやすくグラフ化して表す予定である。